

Sakuji Tanaka

Rotary International President

2012-13

Governor's Monthly Letter

国際ロータリー第2550地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

MAY http://www.rid2550.com/

ガバナーメッセージ

第2550地区ガバナー 鈴木 宏



クラブ会長・幹事殿

今年度も残すこと2か月となりました。最後まで手 綱を緩めずにクラブ運営をお願いいたします。

今年度は色々な場面で「決議23-34」という言葉 が使われてきましたが、その内容に関しまして、再 読された方は殆んどいらっしゃらないのでは無いか と推察いたします。ではどのようなものかと云いま すと、初期ロータリーの原理探究という歴史の中で、 漸くたどり着いたのが「決議23-34」でした。その 成立の経緯については、月信最終号に伊丹ロータリ ー・クラブの深川純一パストガバナーが第3グループ のIMでお話をされました"初期ロータリーを顧みて" を掲載させていただきますのでお読みいただけまし たら幸いです。また、月信に掲載いたしました"コミ ック"も「決議23-34」成立にて終了いたします。こ の「決議23-34」は文献として「社会奉仕」のとこ



ろに記載されていますが、「ロータリー活動のすべて の局面」で適応されるべきものと信じております。 今回は、英文とその訳を掲載させていただきます。

ROTARY CORD OF POLICIES (Containing Board decisions Through February 2002) より

42.010. Basic Principles of Community Service 42.010.1. Policy on Community Service Activities

Community Service is to encourage and foster the application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business and community life.

ロータリーの世界においては、Community Serviceとは、一人ひとりのロータリアンがその家族的社会生活・ 職業的社会生活および地域社会生活に"サーヴィスの理念"を実践に移そうとすることを言う。

ONTENTS

ガバナ	-ーメッセージ	
ガバナ	・ノミニー確定宣言	7
2013	学年度米山奨学生一覧	8
ガバナ	ー一公式訪問だより	9
第2回	会長·幹事会	9
	と作・米山梅吉・和田菊松に関す	
各種表	長彰一覧	15
新入会	会員紹介	15
3月会	員增強·出席報告 · · · · · · · · · · ·	16
文庫通	通信	16
ロータ	リーコミック(初期ロータリーを顧	みて) …24~17

VEWS 主要行事 ロータリーレート/1\$=98円

rセージ ······1 ミニー確定宣言 ······7	5月 9日(木)	12-13 GSE派遣チーム 出発 ~6/5まで
を送出奨学生一覧8 式訪問だより9	5月17~19日(金~日)	世界平和会議「平和はあなたから始まる」広島
幹事会9 :山梅吉・和田菊松に関する三題話 … 10	5月20日(月)	12-13 GSE受入れチーム来日 ~6/14まで
覧15	5月25日(土)	矢板IAC 認証状伝達式
介15 â·出席報告16	6月22日(土)	13-14 第1回地区R米山記念奨学会 委員会
16	6月23~26日(日~水)	RI国際大会

In carrying out this application of the ideal of service, many clubs have developed various Community Service activities as affording opportunities for service by their members. For the guidance of Rotarians and Rotary clubs and to formulate a policy for Rotary toward Community Service activities, the following principles are recognized and accepted as sound and controlling:

このサーヴィスの理念の実践を目的として、多くのクラブは、サーヴィスの実践の契機を自覚させるため、 クラブ会員の行う様々なサーヴィスの実践活動を実施してきた。ロータリアンとロータリー・クラブの指針 となり、また、ロータリーとサーヴィス活動のあるべき姿を明らかにするために、以下の原理を認識し、実 施することを適当と考える。

第1条. ロータリーは人生哲学

1. Fundamentally, Rotary is a philosophy of life that undertakes to reconcile the ever present conflict between the desire to profit for one's self and the duty and consequent impulse to serve others. This philosophy is the philosophy of service – "Service Above Self" – and is based on the practical ethical principle that "He profits most who serves best."

第1条.本来、ロータリーとは、自己のために益しようとする願望と他人にサーヴィスしなくてはならないとする義務意識との間に絶えず生じる矛盾を調和しようとする人生哲学のことである。この哲学こそ"Service Above Self"であり、"He Profits Most Who Serves Best."という実践倫理原則をその根底に置くものである。

第2条. ロータリー・クラブの役割

2. Primarily, a Rotary club is a group of representative business and professional people who have accepted the Rotary philosophy of service and are seeking:

第2条. 一言で言えば、ロータリー・クラブとはロータリーのサーヴィス哲学を信奉する代表的職業人のグループのことである。したがって、この代表的職業人が絶えず追求しなければならないものは

First to study collectively the theory of service as the true basis of success and happiness in business and in life; and second, to give, collectively, practical demonstrations of it to themselves and their community; and third, each as an individual, to translate its theory into practice in business and in everyday life; and fourth, individually and collectively, by active precept and example, to stimulate its acceptance both the theory and practice by all non-Rotarians as well as by all Rotarians;

① クラブ生活を通して、事業と人生の成功の達成と幸福の実現の真の拠りどころであるサーヴィス理論を学び ② クラブ生活を通して、クラブ会員だけではなく、地域社会全体に対してサーヴィス理論の提唱を行い ③ 一人一人のロータリアンがあくまで一個人として、自己の職業的社会生活だけでなく日常生活一般において、ロータリーのサーヴィス理論を実践に移し、かつ、④ 具体的原則と事例をとらえ、個人サーヴィスの方法により、また団体サーヴィスの方法より、ただ単にロータリアンの教育のためばかりではなく、すべての一般社会人にロータリー理論の実践の尊さを理解してもらうことである。

第3条. RIの役割

3. RI is an organization that exists:

第3条. 国際ロータリーは次の目的達成のために存在する組織のことを言う、すなわち、

- a) for the protection, development and worldwide propagation of the Rotary ideal of service;
 - a) ロータリーのサーヴィスの理念を守り、これを発展させ、世界中に広めること
- b) for the establishment, encouragement, assistance and administrative supervision of Rotary clubs;
 - b) ロータリー・クラブを設立し、これに指導と助言を与え、その管理に対して監督を行うこと
- c) as a clearinghouse for the study of their problems and, by helpful suggestion but not compulsion, for the standardization of their practices and of such Community Service activities, and only such Community Service activities, as have already been widely demonstrated by many clubs as worthwhile and as are within, and will not tend to obscure, the Object of Rotary as set out in the RI Constitution.
 - c) ロータリー・クラブの直面する諸問題を研究し、クラブに対する強制命令の方法ではなく、良き助言の方 法により、ロータリー・クラブが作り出した慣行とサーヴィスの実践活動ー多数のクラブによって、実践に 値するものとしてすでに広く行われ、国際ロータリー定款に記載されているロータリーの目的の精神に逸脱 していないようなサーヴィスの実践活動ーを集約・類型化を行う情報媒体機関としての機能を果たすこと

第4条. 実践哲学

4 · Because they who serve must act, Rotary is not merely a state of mind, nor Rotary philosophy merely subjective, but must translate itself into objective activity; and the individual Rotarian and the Rotary club must put the theory of service into practice. Accordingly, corporate action by Rotary clubs is recommended under the safeguards provided herein. It is desirable that every Rotary club sponsor a major Community Service activity each fiscal year, varied from year to year if possible before the end of the fiscal year. This activity is to be based upon a real community need and should require the collective cooperation of all its members. This is to be in addition to the club' s continuing its program for the stimulation of the club members to individual service within the community.

第4条、サーヴィスの精神世界に生きようとする者は行動を起こさなくてはならない。ロータリーは、ただ 単に心の状態に留まるものであってはならない。ロータリーの哲学は、ただ単に主観的な心の状態に留まら ず、客観的行動に移さなくてはならない。したがって、ロータリアンとロータリー・クラブはサーヴィスの 理論を実践に移さなくてはならない。また、ロータリー・クラブが団体行動を起こすにあったっては、本決 議に定める準則にそって行うことが望ましい。各ロータリー・クラブは、毎会計年度において、地域社会内 で行われている主要なサーヴィスの実践活動に資金援助を行い、そのサーヴィスの実践活動をできる限り、 毎年変えるようにし、会計年度終了以前に完了することが大切である。この種のサーヴィスの実践活動は真 の社会の必要性に応じて行わなければならないと同時に、クラブ会員の団結と協力を必要とする。この種の サーヴィスの実践活動に先立ってロータリー・クラブはその会員に対して、そのクラブの事業計画として、 地域社会内部における個人的サーヴィスの励行をたえず提唱するという事業をかかえており、その上にこれ を実施しなければならないことを絶えず念頭においておかなければならないのである。

第5条. クラブ自治権

Each individual Rotary club has absolute autonomy in the selection of such Community Service activities as appeal to it and as are suited to its community; but no club should allow any Community Service to obscure the Object of Rotary or jeopardize the primary purpose for which a Rotary club is organized; and RI, although it may study, standardize and develop such activities as are general and make helpful suggestions regarding them, should never proscribe any Community Service activity for any club.

第5条. 各ロータリー・クラブは、サーヴィスの実践活動の中、どの事業が自己のクラブの事業計画として適 切であるか、またどの事業が自己の所在する地域社会に適合するかを選択するに当たって、絶対自治権を有 する。しかし、いかなるクラブも、ロータリーの目的にそぐわず、またはロータリー・クラブ存立の第一義 を危機にするようなサーヴィスの実践を容認してはならない。また国際ロータリーは各クラブのサーヴィス の実践活動の中、どれがどのクラブでも行える性質のものか研究し、その実施の要綱を明らかにし、これを 促進させ、かつまた、これらのサーヴィスの実践活動に有益な助言を与えることはできても、いかなるロー タリー・クラブのサーヴィスの実践活動に対して、積極的にも、消極的にも、命令する権限を持ってはなら ない。

第6条. 社会サーヴィス活動の指針

6. Although regulations are not prescribed for an individual Rotary club in the selection of Community Service activities, the following rules are suggested for its guidance:

第6条. 個々のロータリー・クラブがサーヴィスの実践活動を選択するに当たって、規則を定めることは適切 ではないが、大まかな指針として、次に定める原理に則せば大過なくこれを行うことができる。

a) Because of the limited membership of Rotary, only in a community where there is no adequate civic or other organization in a position to speak and act for the whole community should a Rotary club engage in a general Community Service activity that requires for its success the active support of the entire citizenship of the community, and where a chamber of commerce exists, a Rotary club should not trespass upon or assume its functions, but Rotarians, as individuals committed to and trained in the principle of service, should be members of and active in their chambers of commerce and as citizens of their community should, along with all other good citizens, be interested in every general Community Service activity, and, as far as their abilities permit, do their part in money and service;

- a) ロータリーの限定会員制からして、地域社会に、その社会全体のために意見を発表したり、活動を行う立場にある公共的・またはこれに準ずる組織が地域に存在しないことを確認した後、初めて、ロータリー・クラブは、地域社会の住民全体の支持が得られなくては成功を期待できないような、地域社会に効果を及ぼすことを目的とするサーヴィスの実践活動を企画立案、実施しなければならない。また、商工会議所が存在する場合、ロータリー・クラブは商工会議所の機能を侵害したり、その機能を肩代わりしてはならない。ロータリー・クラブとしてではなく、ロータリアンとしてサーヴィス原理の専門家の立場で、商工会議所に加入して積極的活動を行い、また地域社会の住民として全ての住民と心を一つにして、地域社会一般に及ぼすサーヴィスの実践活動に関心を持ち、分に応じて、金銭の拠出と労務の提供を行わなければならない。
- b) As a general matter, no Rotary club should endorse any project, no matter how meritorious, unless the club is prepared and willing to assume all or part of the responsibility for the accomplishment of that which it endorses;
- b) 一般論として、ロータリー・クラブがクラブとしてのサーヴィス計画ーいかに有益なものであっても一企画立案実施するに当たっては、この計画の完全実施と目的達成に対して、責任の全部または一部を負担する充分な資力と意欲とがある場合のみ、これを行うことができる。
- c) While publicity should not be the primary goal of a Rotary club selecting an activity, as a means of extending Rotary's influence, proper publicity should be given to a worthwhile club project well carried out;
- c) ロータリー・クラブがサーヴィスの実践活動を選択する場合、広報宣伝を主要目的としてはならないけれども、ロータリーの影響を強める一手段として、優れたクラブの事業計画が見事に成功した場合、妥当な広報宣伝を行わなければならない。
- d)A Rotary club should avoid duplication of effort and in general should not engage in an activity that is already being well handled by some other agency;
- d) ロータリー・クラブは事業計画の重複を避けなければならない。したがって、一般論として、すでに他の 団体が実施し、立派な成果をあげているような活動を企画立案実施しなくてはならない。









